

伊吹山保全事業への寄附をいただきました

5月25日(月)、株式会社エフエム滋賀様から、伊吹山保全事業への寄附をいただきました。

伊吹山の保全に向け、ニホンジカの捕獲の推進に活用させていただきます。ありがとうございます。



▲寄附金贈呈式の様子
株式会社エフエム滋賀
大森代表取締役社長(右)

平和大行進で核の廃絶を訴える

6月15日(月)、核兵器のない平和な世界を目指して行進する「国民平和大行進」が行われました。

この行進は、原水爆禁止を訴え、全国各地から被爆地・広島へ向けて歩く取組で、今年も5月から8月にかけて、全国8コースで実施されています。「核兵器のない世界を実現する」という思いを込め、市町村をつなぎながら行進が行われています。

当日は、役場において岡部町長や大西議長らが行進団を出迎え、激励の言葉を贈るとともに、平和への願いが込められたペナントを代表者に手渡しました。



▲原水爆禁止・核兵器のない世界を願って

小学生県外研修派遣事業認定書交付式を行いました

6月24日(水)、揖斐川町役場で小学生県外研修派遣事業の認定書交付式が行われ、今年度派遣される児童へ、町長から認定書が手渡されました。

今年度は、8月6日(木)から10日(月)まで、町内在住の小学6年生12名が北海道芽室町を訪れ、現地の人々との交流を通じて学びを深めます。

式の中で、児童一人一人が、研修への期待を込めて、研修で学びたいこと

とや、派遣先で伝えたい揖斐川町のよさを意欲的に語りました。



▲認定書を受け取る児童

揖斐高等学校が薬草文化を知るワークショップに取り組みました

6月12日(金)、春日地域のはるひの案内所において、揖斐高等学校生活デザイン科の3年生が、薬草の裁断作業やクラフトコーラ作りのワークショップに取り組みました。

このワークショップは、同高が開発を進める特産品を活用した料理や商品の参考にしてもらうとともに、薬草文化に触れ、その魅力を知ってもらうため、いび薬草の里づくりプロジェクトの一環として開催されたもので、今年で3年目を迎えます。

当日は、はるひの案内所代表の四井さんをはじめ、薬草生産者の方々と講師に迎え、薬草の特徴や活用方法、

春日地域に根付く薬草文化について学びました。その後、生徒たちは、薬草の裁断作業を体験し、薬草を活用したオリジナルのクラフトコーラ作りに挑戦しました。



▲薬草乾燥茶葉・原材料
裁断作業に取り組む生徒



▲薬草を活用したオリジナルの
クラフトコーラ作り

自衛官募集相談員委嘱式 が行われました

6月15日(月)、揖斐川町役場にて、揖斐川町自衛官募集相談員委嘱式が行われました。

自衛官募集相談員は、自衛隊と地域をつなぐ役割を担い、自衛官募集に関する情報提供や広報活動への協力などを行っています。

委嘱式では、町長および自衛隊岐阜地方協力本部長の連名により、牧村幸様へ委嘱状が交付されました。

牧村さんには、今後2年間、自衛官募集相談員として地域における自衛隊の理解促進や募集活動への支援にご協力いただきます。



▲委嘱式の様子

揖斐川町農業委員と農地利用 最適化推進委員を紹介します

このたび任期満了により新しい農業委員19人が任命されるとともに、農地利用最適化推進委員13人が委嘱されました。あわせて32人が、新しい農業委員会委員となります。任期は、7月20日から3年間です。

農地の権利移転や転用に係る審査業務、担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止や解消、農業への新規参入促進などについて、両委員が連携して取り組みを進めます。

新しい委員の皆さんは、次のとおりです。(敬称略)

農業委員 19人

河瀬 俊明 (北方)	宗宮 善和 (大和)	瀬古 和世 (揖斐)	安達 弘康 (清水)	立川 武敏 (小島)	堀井 俊仁 (脛永)	深井 秋年 (谷汲)	正村 洋一郎 (長瀬)	杉山 浩文 (横蔵)	佐名 敏己 (春日)	高橋 嘉明 (久瀬)	中石 兼治 (藤橋)	宮川 仁一 (坂内)	成瀬 泰司
------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------

農地利用最適化推進委員 13人

橋本 洋	長柄 由香里	土川 洋功	橋本 利弘	所 千加
------	--------	-------	-------	------

岩間 俊博 (北方)	高橋 正美 (大和)	椿井 昭二 (揖斐)	大野 泰弘 (清水)	内田 宗元 (小島)	岩間 千栄子 (脛永)	若山 文明 (谷汲)	石原 幸男 (長瀬)	杉山 豊 (横蔵)	駒月 照正 (春日)	長屋 建志 (久瀬)	中川 喜代文 (藤橋)	立澤 信夫 (坂内)
------------	------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	-----------	------------	------------	-------------	------------

※()内は担当地区です。

揖斐川町農業委員会事務局

Tel 22-2809



ユタ工科大学派遣団が揖斐川町を訪問しました

揖斐川町とセントジョージ市(アメリカ ユタ州)は1989年からお互いのマラソン大会を通じて交流を始めました。2014年にディクシー州立大学、現ユタ工科大学との交流を行っており、数年間は新型コロナウイルス感染症の影響により派遣団訪問を中断していましたが、今年度より交流を再開いたしました。

今年は、6月22日(月)から29日(月)までの8日間、ユタ工科大学の看護学生が14名、引率3名、計17名が来町しました。

訪問した看護学生は、高齢者ケアへの関心が高く、町でも大きな課題となっている高齢化に対して、どのような方法で対策を行っているかを施設で学びました。派遣団からは、「実際に食事の様子を見学したり、入居者の方と話したりすることができ、職員の入居者の方への関わり方に温かさを感じた。」との感想がありました。



滞在中の主なスケジュール

- 22日 ホストファミリーとの対面式
- 23日 町内観光(谷汲・徳山ダム)
西濃厚生病院訪問・歓迎レセプション
- 24日 飛騨高山・白川郷観光
- 25日 学校訪問(谷汲小学校・揖斐特別支援学校・
谷汲中学校・学校法人西濃学園高等学校)
- 26日 施設訪問(老人保健施設山びこの郷・久瀬
診療所・メディカルケアセンターI B・や
ひろクリニック・ピノキオ薬局)
- 27日 歴史民俗資料館訪問・薬草見学・試飲体験
町内観光(はるひの案内所)
- 28日 ホストファミリーとの自由時間
- 29日 セントジョージ市へ帰国

滞在期間中は、町内の観光地などで自然を感じたり、施設や学校を訪問して、日本とアメリカとの違いを体験しました。町内の学生との交流では、「谷汲踊り」を鑑賞したり、生徒たちと英語での会話を楽しみました。谷汲中学校では、学校給食の体験をすることができ、生徒と一緒に教室にて、美味しそうに給食を食べる姿が見られました。

派遣団は、薬草文化に関心があり、歴史民俗資料館にて薬草展示を見学した後、実際にさまざまな種類の薬草茶を試飲しました。アメリカにはない薬草の種類や、薬草によって変化する匂いや味、それぞれが持つ特色に興味を示していました。



▲プレゼントを受け取る派遣団



▲施設訪問の様子



▲薬草の試飲体験

派遣団は来町期間中、ホームステイ先に滞在していました。ホストファミリーとともにショッピングモールへ買い物に行ったり、浴衣体験をしたりとたくさんの思い出を作ることができたと派遣団が嬉しそうに教えてくれました。最終日には、派遣団とホストファミリーが別れを惜しむ姿がとても印象的でした。ホストファミリーとしてご協力いただきました皆さまには、派遣団を温かく迎え入れてくださったこと、そして無事に本事業を終えられましたことに感謝いたします。

